

熊本県心臓リハビリテーション推進協議会

熊本県心臓リハビリテーション推進事業

【取組み内容】

1. 医療者の意識改革：適応疾患や有効性の認識の向上
2. 患者への説明の充実：資材の作成と多職種での説明体制構築
3. **連携の強化：施設間、職種間、患者医療者間の連携、協働体制の構築**
4. 専門家の育成：心リハ専門家の育成、各種連携スキルを持った人材育成
5. 心リハ実施施設の増加と質の向上：相談会の実施や新規開始のサポート
6. オンライン化：遠隔心リハの導入と普及
7. 市民啓発：市民公開講座やマスメディアを通じた解説、イベントの開催
8. 情報発信：ホームページ、インスタグラム、LINEでの情報提供
9. 学術活動：データの収集・解析、学会発表、論文発表



県内全体会議（年2回）
ハイブリッド開催 約150人参加
多職種、一般市民、患者、行政、企業



市民公開講座 R6年9月7日
参加者300人

評価項目ごとの取組みの特徴・ポイント

普遍性	患者・市民を含めた多職種協力 によるリハ普及・地域医療改革を目指す取り組み。日本全国で共通した課題であり、普遍性と持続可能性を持つ。
包摂性	医療過疎地域を含むオール熊本で取り組む活動であり、すべての県民に貢献する 。最終的には日本全国の皆様に利益をもたらすことを目指す。
協働性	公的・民間医療機関、自治体、県民、企業、スポーツ団体など、多様なステークホルダーと協力 。広く情報発信や勉強会を開催し、人材を育成。
統合性	官民・市民による活動。健康、教育、働きがい・経済成長に関係。 健康寿命延伸と高齢化に耐える医療システム確立 で経済・社会・環境に貢献。
透明性	患者・市民・行政も参加 。継続的に県全域からデータを収集・解析しPDCAサイクルを回し、データや活動内容は全て積極的に公表している。

貢献するSDGsのゴール

